
開講科目名：租税法基礎研究 (2単位)
開設年次：1年 2年 3年 4年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：服部 由美

《授業の概要》

1. 授業の概要

「講義の目的」

受講生に、租税法を研究するのに必要な法学の基礎について、全般的に学んでもらう。

「講義の内容」

前半は、おおむね、テキストに従って、租税法律主義、法令の解釈、「税法の読み方」「判例の読み方」等を学ぶ。

後半は、民法、刑法、民事訴訟法等の基本について、租税法の理解に必要な範囲で、学びつつ、租税訴訟の基礎についても、習得してもらう。

「授業の内容」

- 第1回 法解釈学、法令解釈の手法
- 第2回 法的三段論法、
- 第3回 税法の読み方、法令用語
- 第4回 税法の読み方、法令用語
- 第5回 判例の読み方
- 第6回 判例の読み方
- 第7回 憲法と租税法律主義
- 第8回 憲法と租税法律主義
- 第9回 民法の基礎と税法
- 第10回 民法の基礎と税法
- 第11回 民法の基礎と税法
- 第12回 民事訴訟法の基礎・要件事実論
- 第13回 租税訴訟
- 第14回 知的財産法の基礎と税法
- 第15回 刑法の基礎と租税処罰法

2. 評価方法

出席及び授業への参加姿勢、貢献度、レポート等を総合的に勘案して評価する。

《参考書》

金子宏「租税法第22版」(2017年・弘文堂)

「税法の読み方 判例の見方改訂第三版」(2014年TKC出版)